

2020年度連続公開講座(全3回)

もうこうてい 「西周後期の雄篇《毛公鼎》の銘文を読む」

昨年は西周前期の代表的な青銅器である《大盂鼎》の銘文全文を3回に分けて読みました。今年は西周後期の代表的な青銅器である《毛公鼎》を読みます。毛公鼎の作器者である毛公は、西周王朝を草創期から支えてきた周公の一族ですが、後期においては王から執政を託されるほどの存在に成っていました。王朝としての勢いがあった西周前期と比べますと、王朝の勢いが衰えつつあった時代の様子が見てとれる興味深い銘文です。難解な語がかなり出て来る難しい銘文としてよく知られていますが、昨年の《大盂鼎》と同様に、できるだけ分かりやすい説明を心がけるつもりです。今回も歴史の動向や考古学的な知見も話題として盛り込みながら読んでいきます。

今年は白川先生の生誕110年に当たる年ですので、研究所所蔵の《毛公鼎》の拓本展示も行ないます。

【開催日程】

第1回 2020年11月28日(土) 14:00-16:00

第2回 ~~2021年 1月30日(土) 14:00-16:00~~

第3回 ~~2021年 2月20日(土) 14:00-16:00~~



【講師】

高島 敏夫

(立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所・客員研究員)

【会場】

立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

緊急事態宣言の期間延長にともない、
第2回、第3回の日程を下記の通り、
延期いたします。

第2回 1月30日 → 3月13日(土)

第3回 2月20日 → 3月27日(土)

※時間はいずれも14:00-16:00

【備考】

- ・レジュメを配布いたします。
- ・金文を描くための筆記用具(ノート・ペン)を各自持参ください。

【新型コロナウイルス感染対策について】

- ・大学内および本講座の会場内ではマスクを着用ください。
- ・当日、会場入口にて手指のアルコール消毒にご協力をお願いいたします。
- ・当日、会場入口にて検温を行います。測定値が37.5度以上の方はご参加をお断りすることがございますので、あらかじめご了承ください。
- ・体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ・会場での食事はご遠慮ください。(水分補給は可能です)
- ・窓や扉を開けて換気を行うことがあります。体温調節できる服装でお越しください。
- ・会場はスペースを十分確保した講義室をご用意しております。
当日は他の参加者と距離を取ってお座りください。
- ・今後の感染拡大状況により、本講座の延期や中止を行う場合がございます。

毛公鼎(台湾・故宮博物院所蔵)



【お問合せ】

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所事務局

TEL:075-465-8306 FAX:075-465-8224

E-MAIL:ro-toyo@st.ritsumeit.ac.jp

参加費無料・事前申込不要